

事業番号	0	2	5
実施計画事業			
実施計画事業以外の事業	○		

令和元年度 事務事業評価シート

1. 事業の概要

事務事業名	二次医療機能運営事業				担当部	健康福祉部					
事業期間	平成20年度 ~ 令和2年度以降				担当課	保健センター					
新基本計画 (平成26年~平成30年)	基本施策	07	展開方向	2							
予算区分	一般会計	款	04衛生費	項	01	目	01	大	05	中	02

2. 実施状況

【平成30年度の実施状況】
 春日井小牧広域第2次救急医療圏では、第2次救急医療施設として、小牧第一病院と名古屋徳洲会総合病院があり、輪番にて救急医療を提供しています。
 休日及び平日夜間の救急医療を確保するため、市内にある小牧第一病院に対して運営費の一部を補助しました。
 補助金 [平日夜間71,040円/日 休日71,040円/日]
 救急医療実績 ①夜間診療 受診者85人、診療日数183日 ②休日 受診者140人、診療日数40日
 ※小牧市病院群輪番制病院運営費補助金交付要綱

3. 総合診断

事業費	項目	単位等	H27	H28	H29	H30	R1	
			直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	15,558
			国・県支出金	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0
			計(A)	千円	15,558	15,771	15,345	15,842
			対前年比	%	-	101.4%	97.3%	103.2%
			(当初)予算額	千円	15,700	15,700	15,345	15,842
	人件費		正職員	人	0.1	0.1	0.1	0.1
			正職員(平均人件費)	千円	749	749	749	749
			その他職員	人	0	0	0	0
			その他職員(時給×年間時間)	千円	0	0	0	0
			計(B)	千円	749	749	749	749
			事業費合計(C=A+B)	千円	16,307	16,520	16,094	16,591
指標	成果指標	急病患者の受診者数	目標	-	-	-	-	-
			実績	257	240	193	225	
	活動指標	当番診療日数	目標	-	-	-	-	-
			実績	183	183	183	183	
			目標					
			実績					
@事業費	受益者数(a)	人	257	240	193	225		
	受益者あたり事業費(b=C/a)	円	63,450	68,832	83,387	73,736		

	改善点は見られない	○	改善点が若干見られる	大いに改善すべき	
	診断結果	<p>○事業費の年度ごとの違いは、例年平日夜間の当番日数は同じですが、休日当番日数は年度ごとに違うためです。</p> <p>○成果指標である急病患者の受診者数は、平成27年度から平成29年度までは減少傾向でしたが、平成30年度は増加に転じています。受診者数の増減理由は、小牧第一病院の受入れ体制の変更はないため急病患者(市民)の選択によるものと推測されますが、急病患者(市民)が、実際に重症度に応じて小牧第一病院を選択しているのかを分析するのは困難です。</p> <p>救急時に重症度に応じて救急医療機関を選択する適正受診が重要であることから、入院を要する急病患者(市民)が利用する医療機関であることを、市広報や市ホームページにより、継続して市民へ啓発する必要があると考えます。</p>			

4. 総合評価

事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの				
	削減額・対象	事務事業評価による額	千円	予算区分	節	節
評価結果	<p>○小牧市病院群輪番制病院運営費補助金は、平日夜間と休日に、第2次救急医療を提供する小牧第一病院に対して、その運営を補助することを目的としています。第2次救急医療の市民への提供は、市の施策である市民の健康維持を図るうえで必要不可欠であり、小牧第一病院は、第2次救急医療を提供していることから、市として補助は継続していく必要があると考えます。</p> <p>○第2次救急医療を提供するには、急病患者(市民)が、救急時に重症度に応じて救急医療機関を選択する適正受診が求められます。このことから、小牧第一病院が第2次救急医療を提供していることと救急医療機関の適正受診を市民へ啓発していきます。</p> <p>○巾下地区に、小牧ようてい記念病院が、本年度から開設されました。病院の意向など調整を行い、今後の救急医療体制について検討していく必要があります。</p>					